

世界注目のDMNワークショップ 2013

Feel the Telenoid

フィール・ザ・テレノイド

人型メディアが

人間とビジネスを変える

by **Hiroshi Ishiguro**

2013年5月30日(木)開催

会場：ダイヤモンド社石山記念ホール

Part 1～3 13:00～19:00 | Part 4 19:00～22:00 | (受付 12:30～) (予定)

ワークショップ講師：

石黒浩 大阪大学大学院 基礎工学研究科教授 ATR 石黒浩特別研究室室長

ワークショップアクチュエータ：

遠隔操作ロボット “テレノイド”

参加費：1名 **42,000**円(税込)

募集定員：**50**名

定員になり次第参加締め切らせていただきますことご了承ください。

各位

人間そっくりのアンドロイド開発者として世界が注目するサイエンティスト・石黒浩
大阪大学教授による、遠隔操作ロボット“テレノイド”を使った初めての本格的ワー
クショップを開催いたします。

人類をとりまいていた 20 世紀までの環境から、今 21 世紀の私たちをとりまく環境を
大きく隔てているものは、コンピュータとネットワークです。生活空間に存在するす
べてのものがコンピュータに関係づけられることで「つながり」、そのとたん、人間に
とってすべてのものは、新たな他者となって、人間との関係に著しい変化を及ぼします。
目の前にある、例えばコップが、ネットワークにつながることで、人間との関係を一
変させるのです。この状況は、しかし、その秘めた可能性のほんの一部しか明らかにな
っていないと言えるでしょう。

この状況をいっきにブレイクスルーして、人間の五感を再び活性化して、人間の生き
方や感じ方を問い直そうとするような研究開発に邁進しているサイエンティストが、
石黒浩氏です。

DMNでは、「ビジネスや研究開発にたずさわる人々に、今、どのような機会を提供す
べきか」という相談をもちかけ、ひとつの画期的な試みをする事になりました。同
氏の研究成果に立ち会い、同氏の未来ビジョンに共感覚をもって触れ、現代人として
もう一度生まれ変わるようなイノベティブな「場」を提供すべく、同氏をワークシ
ョップ講師に招き、“テレノイド”をワークショップのアクチュエータとして、「フィ
ール・ザ・テレノイド」を実施することになったのです。

これは、21 世紀的イノベーションの核心をつかむ！絶好の「場＝BA」です。
ネットワーク時代にビジネスを成功させたいすべてビジネスマン、イノベーションを
もたらず開発をしたいすべてのエンジニア、デザイナー、商品企画者、マーケッター
etc.、そしてアンドロイド開発者・石黒浩教授に興味をもつすべての方々に、ぜひ参
加していただきたいワークショップです。

ここで“テレノイド”について解説します。

テレノイドについて（大阪大学、ATR 石黒浩特別研究室）

大阪大学と ATR は、人の存在感を効果的に伝えうるデザインを採用した小型の遠隔操作型アン
ドロイド「テレノイド R1」を開発しました。

これまでに開発された人の存在感を伝える遠隔操作アンドロイドである、ジェミノイド™ HI-1
(ATR 開発) やジェミノイド™ F (大阪大学と ATR との共同開発) は、外観を実在する人間の
姿形に極めて近づけ、特定の個人の存在感を伝えようとするものでした。

これに対して、今回開発したテレノイド R1 は、人間としての必要最小限の見かけと動きの要素のみを備えるものとなっています。

このテレノイドのデザインは、一目で人とわかるものであると同時に、男性とも女性とも、あるいは幼い子とも高齢者とも見えるデザインとなっており、あたかも遠隔地で操作している知人が側にいるような存在感を実現します。さらに、柔らかく、肌触りの良い外装と、子供のような小型のボディの採用により、容易に抱えることができます。つまり、誰でも乗り移れ、スキンシップも図れるものとなっています。

テレノイド (Telenoid) は、Telephone (電話) や Tele-operation (遠隔操作) の Tele に、Humanoid (人間型ロボット) の noid (~のような) を組み合わせて命名しています。このテレノイドは、研究面では、人らしい存在感を遠隔地に伝えるために必要な要素を探る研究において利用していきます。



さて、今回は、Part1~Part3 までのワークショップセッション (6 時間) で、“テレノイド”との交流感覚を体験し、その共感覚をベースに、人間の関係性、人間と他者とのインタラクションにかかわる核心をつかみ、“テレノイド”の新しいデザイン、エンジニアリング、ビジネスを探究するプログラムになっています。

また、ワークショップセッション終了後の懇親会では、石黒浩教授とのさらにディープな議論に入っていく予定です。

開催概要：

プログラム

受付 12:30 ～

13:00 ～

Part 1 レクチャー&プレゼンテーション

「21 世紀人と智能ロボティクス

～アンドロイドが世界を変える」

Part 2 エクスペリエンス

「遠隔操作ロボット “テレノイド” との交流」

Part 3 アイデアプランニング

「“テレノイド” から 21 世紀的ビジネスデザイン
を考える」

19:00 終了

Part 4 アフターセッション (懇親会) 19:00 ～ 会場未定*

*後日、参加者の方にご連絡させていただきます。

「石黒浩教授との未来を感じるダイアローグ」

会場：ダイヤモンド社石山記念ホール

渋谷区渋谷 1-1-8 青山ダイヤモンドビル 9F

TEL：03-5468-2461

<http://www.dia-ishiyama-hall.jp/hall/access.htm>



参加費： 1名 42,000円 (税込)

※ お申込み受付後、請求書と受講券をお送りいたします。

※ 法人で複数名のご参加の場合にはディスカウントもご用意しております。

詳しくは DMN 事務局までお問い合わせください。

定員：50名

※ 定員になり次第締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

主催：(株)ダイヤモンド社

事務局 DMN (ダイヤモンド・デザインマネジメント・ネットワーク機構)

TEL: 03-5778-7235 e-mail: dmn@diamond.co.jp

お申込み方法：

< Web エントリーフォームよりお申込み >

Web(<http://www.dmn-online.net/dmnandroidws.html>) にアクセスしていただき、

<< Web エントリーフォームよりお申込み >> からエントリーフォームにてお申し込みください。

< e-mail/FAX でのお申込み >

「参加申込書」に必要事項を明記の上、e-mail または FAX にてお送りください。

お申込み締切：5月22日 (水)

プロフィール：

石黒 浩 氏

Hiroshi Ishiguro

大阪大学教授 大学院基礎工学研究科 システム創成専攻

国際電気通信基礎技術研究所（ATR）石黒浩特別研究室室長

1963年、滋賀県生まれ。86年、山梨大学工学部計算機科学科卒業後、同大学院修士課程修了。大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程修了。工学博士。山梨大学助手（工学部）、大阪大学助手（基礎工学部）、京都大学助教授（工学研究科）、和歌山大学助教授、教授を経て、2003年より大阪大学教授。社会で活動できるロボットの実現を目指し、大学、研究機関、企業の枠を超えてプロジェクトを推進する。人間そっくりの動作と外観をもったアンドロイドの開発者であり、人間とコミュニケーションする智能ロボットの研究者。著書に「ロボットとは何か」「どうすれば「人」を創れるか」など、共著に「生きるってなんやるか？」。



DMN（ダイヤモンド・デザインマネジメント・ネットワーク機構）

経営資源としてのデザインを幅広くビジネスに生かすため、1990年にダイヤモンド社が設立した日本で唯一のデザインマネジメント総合支援プログラム。さまざまな分野の企業からデザイン、マーケティング、商品企画といったクリエイティブ部門のメンバーが参加する法人会員制のネットワークで運営され、研究開発やケーススタディ、ワークショップ、調査分析、人材育成など、「一社ではできない」さまざまな「場＝BA」を提供している。

Feel the Telenoid

フィール・ザ・テレノイド

人型メディアが 人間とビジネスを変える

参加申込書

お名前 (フリガナ)

会社名

部署・役職名

ご住所 〒

TEL

()

FAX

()

e-mail

@

コメント欄

*必要事項をご記入の上、e-mail または FAX で DMN 事務局までお送りください。

*お申込み受付後、請求書と受講券をお送りいたします。

※ なお、定員になり次第、締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

お申し込み締切：2013 年 5 月 22 日 (水)

FAX: 03-5778-6617

E-mail: dmn@diamond.co.jp

ダイヤモンド・デザインマネジメント・ネットワーク機構 DMN 事務局

〒150-8409 東京都渋谷区神宮前 6-12-17 ダイヤモンド社 7 F

TEL 03-5778-7235 FAX 03-5778-6617 E-mail dmn@diamond.co.jp